

題材のイメージを身体であらわすための
学習者の特性：題材から動きにすることが
できない者に着目して

齋藤瀬奈（筑波大学大学院）

1. はじめに

創作ダンスは、題材やテーマからイメージをとらえ、そのイメージから動きを工夫して表現する活動である。その指導は、学習者の自由な自己表現を引き出す指導とされており、題材は、学習者のイメージや動きを誘発する手がかりとして機能する。しかし、学習者の中には、題材からイメージを膨らませ、そのイメージを動きにするという一連の流れを容易に行うことができない者がいると考えられる。このような問題に対処すべく、先行研究では学習者のイメージや動きを引き出すために有効な指導言語や題材の検討が多くされてきた。しかし、題材から動きにすることができない学習者は、題材からイメージを膨らませることができないのか、イメージは膨らんでいるのに動きにすることができないのかなど、その実態については明らかになっていない。

そこで本研究では、学習者は題材からどのようなイメージを膨らませ、どのように動きにしているのかという実態に着目し、その中でも特に題材から動きにすることができない者の特性について明らかにすることを目的とする。

2. 方法

本研究では、題材から動きまでの一連を①題材からイメージを想起する、②イメージを動きであらわすという2段階と仮定した上で、実験的な方法によって調査した。

1) 対象者と期間

対象者はT大学に在籍するダンス非専門の大学生・大学院生男女33名とした。

期間は2021年9月6日～29日に実施した。

2) 実験の概要

実験は、各対象者を個別に行なった。文字で提示された題材を身体の動きであらわすというもので、実験試技後にはインタビュー調査を行った。題材は「自然現象」に限定し、28個用いた(表1)。

表1 題材一覧

1	爆発	8	雪解け	15	花吹雪	22	夕立ち
2	炎	9	泡ぶく	16	水しぶき	23	煙
3	雨	10	波	17	渦潮	24	空
4	吹雪	11	芽生え	18	光	25	台風
5	落葉	12	沸騰	19	入道雲	26	水面のきらめき
6	地震	13	竜巻	20	虹	27	噴火
7	川の流れ	14	氷	21	稲妻	28	陽だまり

つまり、1人につき28試技行った。また、どうしても動くことができない場合は、自己申告した後

に次の試技へ移った。

3) インタビュー項目

①「題材から想起した内容は何か」、②「身体の動きであらわす際、あらわそうとしたことは何か」の2つと、全く動けなかった試技に対しては③「動けなかった理由」も聞いた。

4) 分析方法

インタビュー項目①、②の分析は、回答できた(○)／回答できなかった(×)の観点で分類し、○、×の数を単純集計した。インタビュー項目③の分析は、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて概念を生成した。

3. 結果と考察

題材28個、対象者33名で計924試技を行った。そのうち対象が動けた試技は853件、全く動けなかった試技は71件であった。

動けた試技853件は、インタビュー項目①、②ともに回答できた。一方、インタビュー項目①に回答できなかった17件と、インタビュー項目②に回答できなかった48件は、いずれも対象者が全く動けなかった試技であった。また、インタビュー項目①、②どちらにも回答できたが全く動けなかった試技が6件あった。

インタビュー項目③の分析からは、【単語の意味を知らない】、【何も想起できない】、【想起した内容が不明確】、【想起した内容が静的】、【想起した内容が感覚に関する】、【あらわす内容が定まらない】、【現実的に考えすぎる】、【身体であらわし方が思い付かない】、【うまく身体を動かせない】という9つの概念が生成された。

以上の結果から、題材から動きにすることができない者の特性には大きく4つの段階があることが明らかとなった。1)「単語の意味を理解する段階」：題材からイメージを想起する以前に題材が示す単語の意味を知らないと動きにすることはできない。2)「題材からイメージを想起する段階」：題材の示す単語の意味は知っていても、イメージを想起することができない場合がある。3)「イメージを身体であらわす段階」：題材からイメージを想起できても、その内容が不明確、静的、感覚に関することであると、動きにすることができない場合がある。また、題材から複数のイメージを想起した際に、何をあらわしていいのかが定まらなると動きにすることはできない。さらに、人間の身体で再現できる範疇を超えたイメージは再現できないという現実的な思考によって動きにすることができない場合もある。4)「身体技能の段階」あらわしたい内容やこんな風に動きたいという理想がはっきりとしていても、身体技能の問題によって動けない場合がある。